

## 8 まとめと今後の課題

指導員は、日々いくつかの職業能力開発業務を行っている。職業能力開発の高度化に伴って様々な役割を担うことを要求されている。特にその業績を明らかにするために、常日頃の業務を行う中で得られた様々な情報や自らが体験したものを整理してまとめ、外部に対して的確で品質のよい情報発信を積極的に行うことが求められている。すなわち、単なる指導をする指導員としての役割だけでなく、組織が担っている機能・役割を理解しながら、職業能力開発の発展に寄与する大きな役割も担っている。

教材だけに限らず、職業能力開発に関する離転職者や在職者に役立つコンテンツ（内容物）を開発・作成し、その成果物を単にまとめて公開していくという段階に留まらずに、整理された質の高い成果物を年度毎に蓄積して積極的に外部に広めていくという前向きな努力を積み重ねていく必要がある。

国の職業能力開発機関である雇用促進事業団は、職業能力開発の高度化領域を担っていくことになっている。このような中で、単に内から出るニーズやシーズだけで能力開発セミナーを実施するだけでなく、事業主団体方式を通じてその傘下の企業からのニーズに応えられる能力開発セミナーの実施、職業能力開発環境整備等、職業能力開発のリーダー的役割を果たせる具体的な成果物を問われている。職業能力開発のリーダーとしての社会に対する影響力、新たな教育訓練技法、好事例の蓄積と公開、好事例の活用を図り、職業能力開発の品質向上に努めることである。

職業能力開発に関する情報提供の中核は、教材とそれに含まれる教育訓練の指導ノウハウである。単なる自作テキストにこだわらず、雇用促進事業団が保有する指導ノウハウ、教材を整理して公開していくことと、それをもってして関係機関への具体的な支援を行うことである。今回の「生涯職業能力開発体系に基づく在職者用の教材開発」のモデル教材はまさに具体的支援ツールである。今後とも日常的に作成・使用している教材情報を収集し、委員会で査読・校閲作業を通して積極的な情報公開を行っていきたい。

そのためにはこれまでの教材開発支援システムの研究報告にあるような教材開発環境を整備し、全国の教材に関するコンテンツを蓄積しやすい環境づくりと組織的な具体的手段と行動が必要となる。教材開発は新たな業務ではなく、日常的な職業能力開発の中で如何に効率的に質の高い情報発信を行い、日常業務の評価材料として外部に示し、我々の存在意義を示す良い機会を与えられているという理解のもとに一致協力して取り組む課題である。引き続きあらゆる効果的な手段によって全国的に教材に関する情報収集と情報発信を行っていきたい。

特に、以下の項目について指導員のみなさんをお願いしたい。

- (1) 著作権には十分配慮していただきたい。
- (2) ワープロ等で電子ファイル化する場合は、普及しているツールを使用していただきたい。

- (3) 指導ノウハウの入った指導案を必ず作成していただきたい。
- (4) 受講後のアンケートやセミナーの反省点を含めた実施結果報告を作成していただきたい。

今後の課題としては、電子ファイル化しにくいCAD情報、設備機器等の具体的運用状況、ビデオ化されたセミナー情報の公開方法、外部講師との協力により完成した教材の公開範囲と許諾条件等々の問題が明らかになっている。コピーサービス、ビデオライブラリー化等の方法を模索しながら、教材情報の収集と公開に向けて諸問題の解決方法の検討を行っていききたい。

本報告中の未熟な部分は、今後の教材開発委員会にて改定を重ねていきたい。ぜひ、皆様のご意見とご指導を賜りたい。

本モデル教材作成に当たり、業務多忙にもかかわらずご協力いただいた委員の皆さん、直接モデル教材の作成に携わった方々、委員の方々が委員会に参加できるようご協力いただいた関係者の方々に厚く御礼申し上げます。